

# TOHMA Jr SOCCER CLUB

2007年 6月 22日 当麻サッカー少年団 保護者会通信 NO. 6



## 練習試合結果

Homepage <http://tjsc.ban796.com/>

日時:6月17日 当麻グリーンヒルサッカー場

### Aチーム 第1試合

当麻				士別		
後半	前半	合計		合計	前半	後半
0	1	1	得点	2	2	0
5	1	7	シュート	10	6	4
15分:花陰 (アシスト佐藤颯太)			得点者			

### Aチーム 第2試合

当麻				末広		
後半	前半	合計		合計	前半	後半
0	0	0	得点	13	8	5
2	2	4	シュート	20	11	9

### Bチーム 第1試合

当麻				末広		
後半	前半	合計		合計	前半	後半
0	0	0	得点	1	1	0
0	1	1	シュート	5	3	2

### Bチーム 第2試合

当麻				末広		
後半	前半	合計		合計	前半	後半
1	1	2	得点	2	0	2
7	2	10	シュート	14	0	3
8分:樋田 後5分:松田			得点者			

1月半後の士別大会で毎年顔を合わせているチーム(サフォーク、ジャコブ)との練習試合。この1月取り組んできたディフェンスが実践でどの程度機能するかのテストとなった。

Aチームはある程度選手を固定して戦い、Bチームは8人制としGKを含めて全選手を様々なポジションで使いました。Aチームの1試合目は早い寄せとワンサイドカットがある程度出来ていましたが、2試合目は疲れから寄せが甘くなり相手に自由にボールを持たれシュートまでもって行かれる場面が繰り返されました。

そんな中、1試合目の颯太君からのクロスボールに花陰君の右足ダイレクトシュートは素晴らしいプレーでした。2人の積極的な判断がゴールに結びつきました。

全体に、積極的なドリブル、しっかりボールを止めて次のプレーを選択することも出来ていました。反面、自分のチームにボールが渡った時にパスコースを作る動きがなく、そのためボールを持った選手が孤立し相手が多い中をドリブルで仕掛けて取られる場面が目立ちました。また、ボールを持った相手にアプローチする時に一発で簡単にかわされるプレーが目につきました。じっくりと相手に着き一方向に追い込むプレーを心がけましょう。周りのDFは相手のパスを予測してインターセプト(パスカット)にチャレンジしましょう。そのためにも、周りの選手からの指示の声(相手選手がそばに居るのにむやみに声を上げることはありません。味方の選手の状況を伝える声、ベストの選択が可能となるような適切な指示の声)が必要になります。ワンタッチ目で前を向くこと、ドリブルで積極的に仕掛けること、パスをしっかりできること。繰り返しの練習で基本プレーが簡単に出来るようになります。

23日には高台との練習試合があります。失敗しても構いません、いろいろなことにチャレンジして自分プレーの幅を広げましょう。